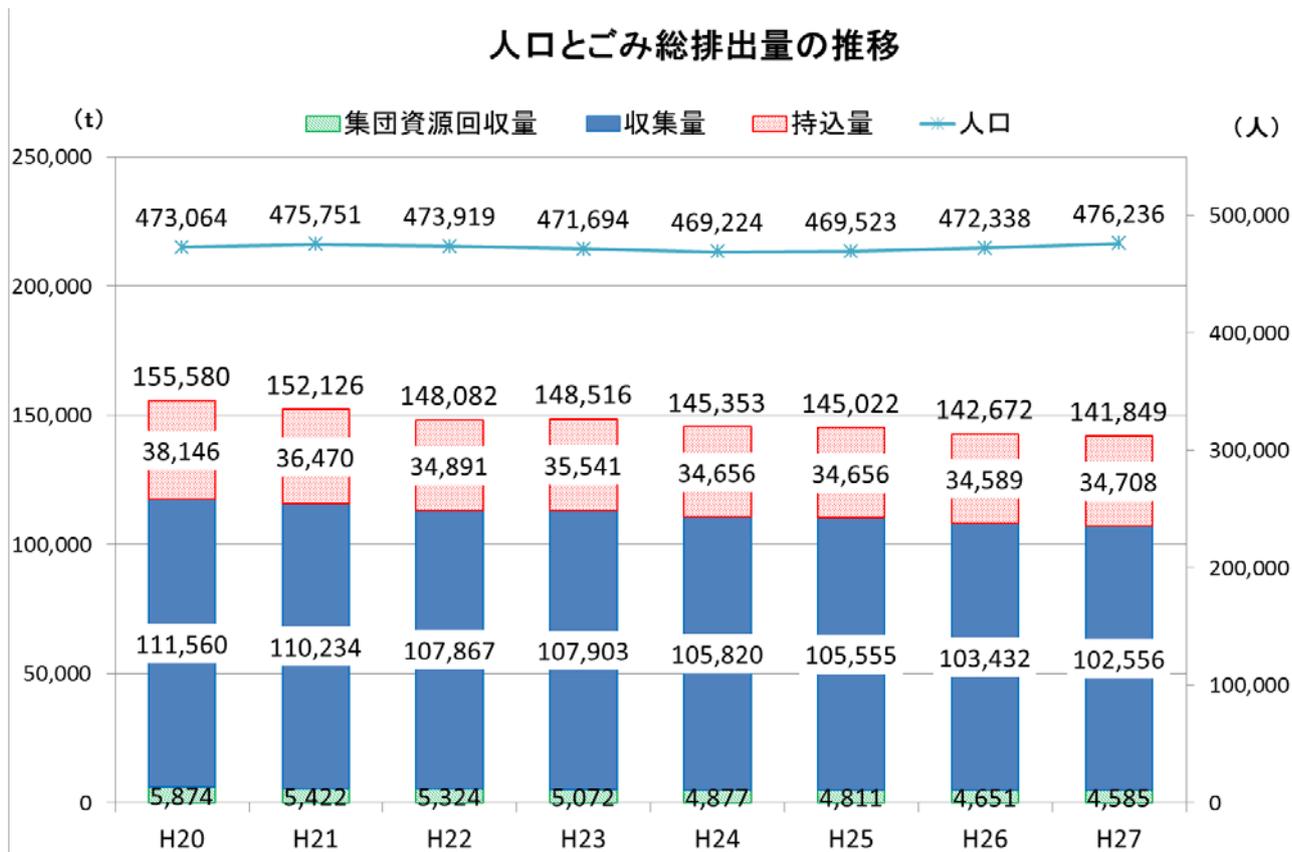


平成 27 年度のごみ排出量等の実績について

1 総排出量



※平成 27 年度は速報値

総排出量の内訳

単位：t

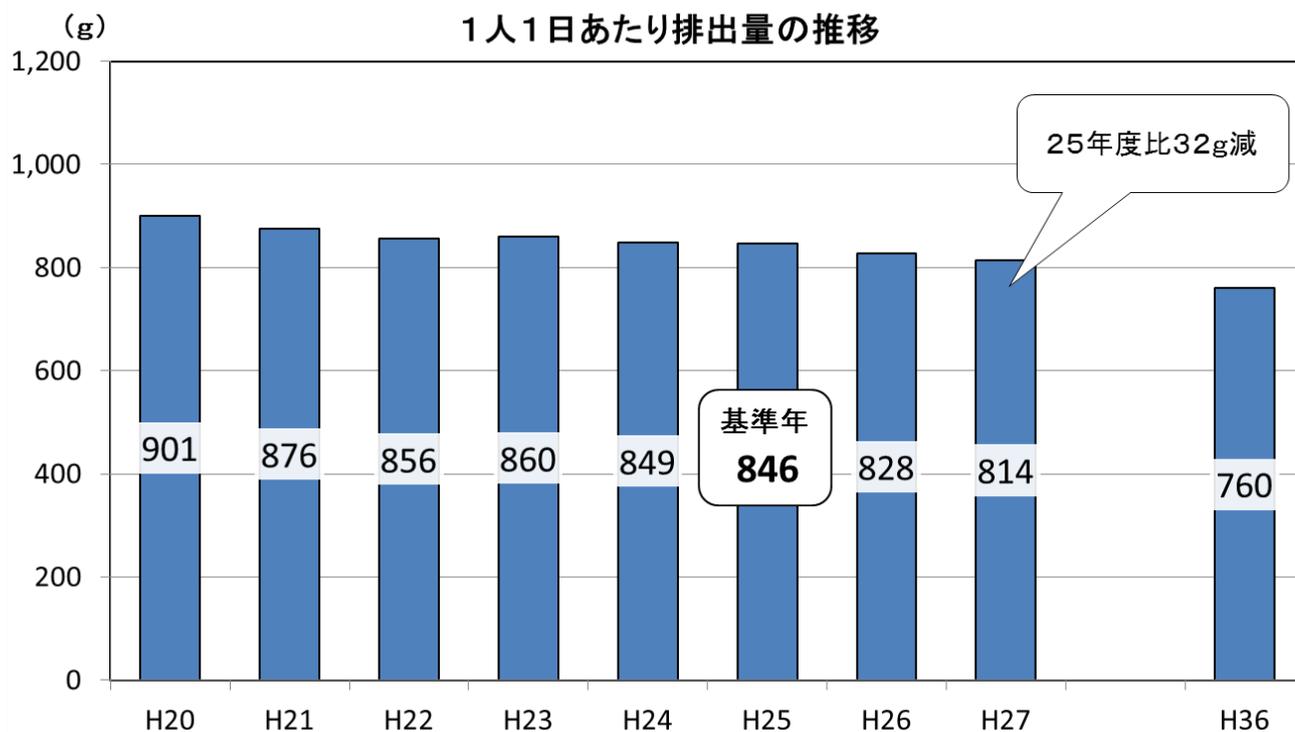
年度	23	24	25	26	27	26→27増減比較		
処理人口(人)	471,694	469,224	469,523	472,338	476,236	3,898	0.8%	
収集量	燃やすごみ	82,032	81,587	80,767	79,561	78,735	▲ 826	▲1.0%
	燃やさないごみ	4,397	3,771	3,875	3,794	3,739	▲ 55	▲1.4%
	大型ごみ	1,936	1,838	1,893	1,633	1,729	96	5.9%
	有害ごみ	25	24	48	27	26	▲ 1	▲3.7%
	資源物	19,513	18,600	18,972	18,417	18,327	▲ 90	▲0.5%
	資源物内訳							
	ビン	2,760	2,703	2,721	2,662	2,693	31	1.2%
	カン	1,544	1,505	1,457	1,405	1,351	▲ 54	▲3.8%
	新聞	1,540	1,366	1,461	1,337	1,138	▲ 199	▲14.9%
	雑誌	3,393	3,095	3,272	3,221	3,078	▲ 143	▲4.4%
	ダンボール	3,432	3,413	3,545	3,524	3,630	106	3.0%
	紙パック	101	102	98	94	94	0	0.0%
	布類	559	467	433	418	472	54	12.9%
プラ容器	6,184	5,949	5,984	5,754	5,869	115	2.0%	
小型家電	—	—	1	2	2	0	0.0%	
小計	107,903	105,820	105,555	103,432	102,556	▲ 876	▲0.8%	
持込量	燃やすごみ	33,505	32,613	32,479	32,497	32,505	8	0.0%
	燃やさないごみ	767	753	716	698	722	24	3.4%
	大型ごみ	1,269	1,290	1,461	1,394	1,481	87	6.2%
	小計	35,541	34,656	34,656	34,589	34,708	119	0.3%
集団資源回収量	5,072	4,877	4,811	4,651	4,585	▲ 66	▲1.4%	
総排出量	148,516	145,353	145,022	142,672	141,849	▲ 823	▲0.6%	

※人口は各年度の10月1日現在の常住人口

※収集ごみ：委託車両、拠点回収等の市直営により収集したごみ（主に家庭系ごみ）

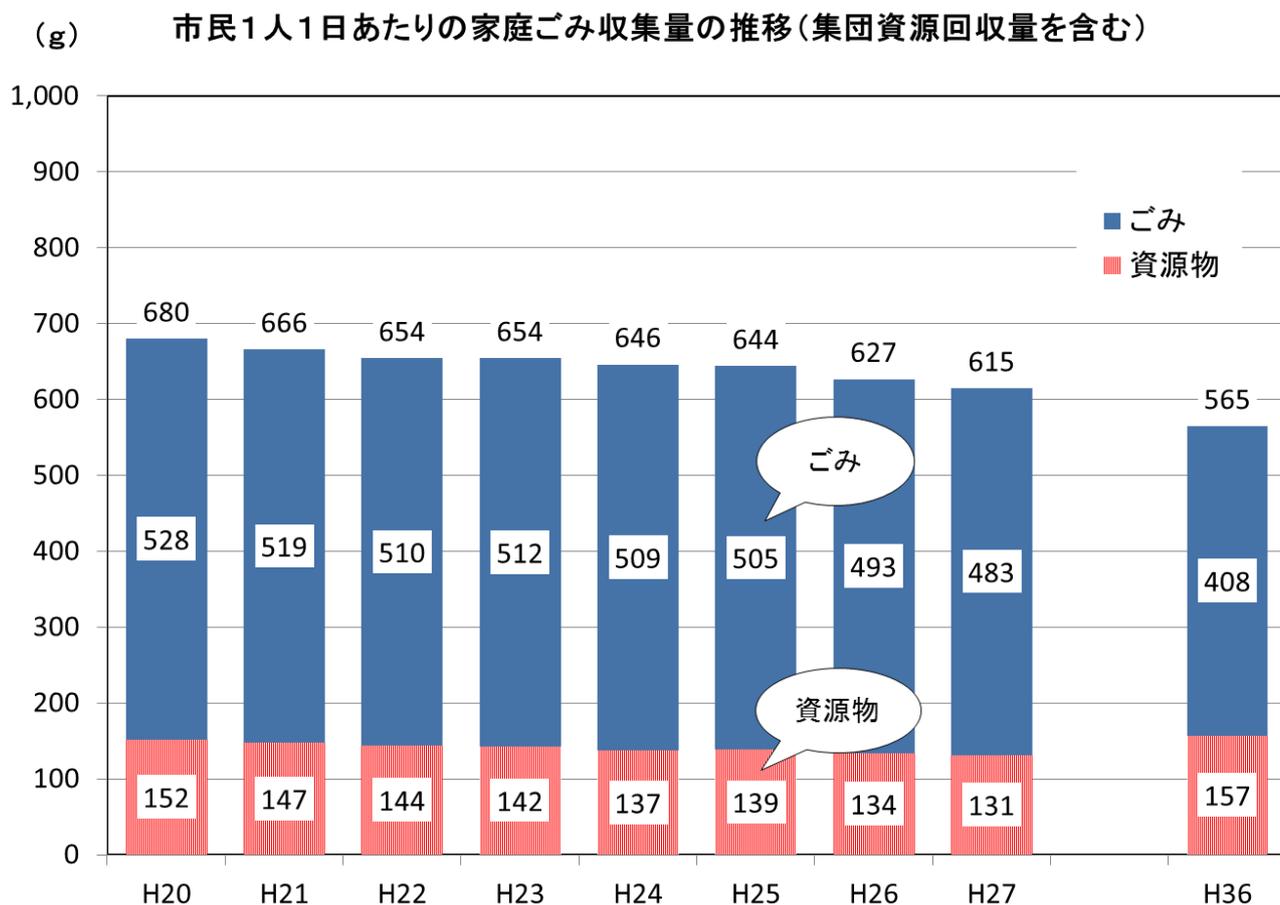
持込ごみ：許可車両、自己搬入により持ち込まれたごみ（主に事業系ごみ）

2 1人1日あたり排出量



※平成 27 年度は速報値、平成 36 年度は計画値

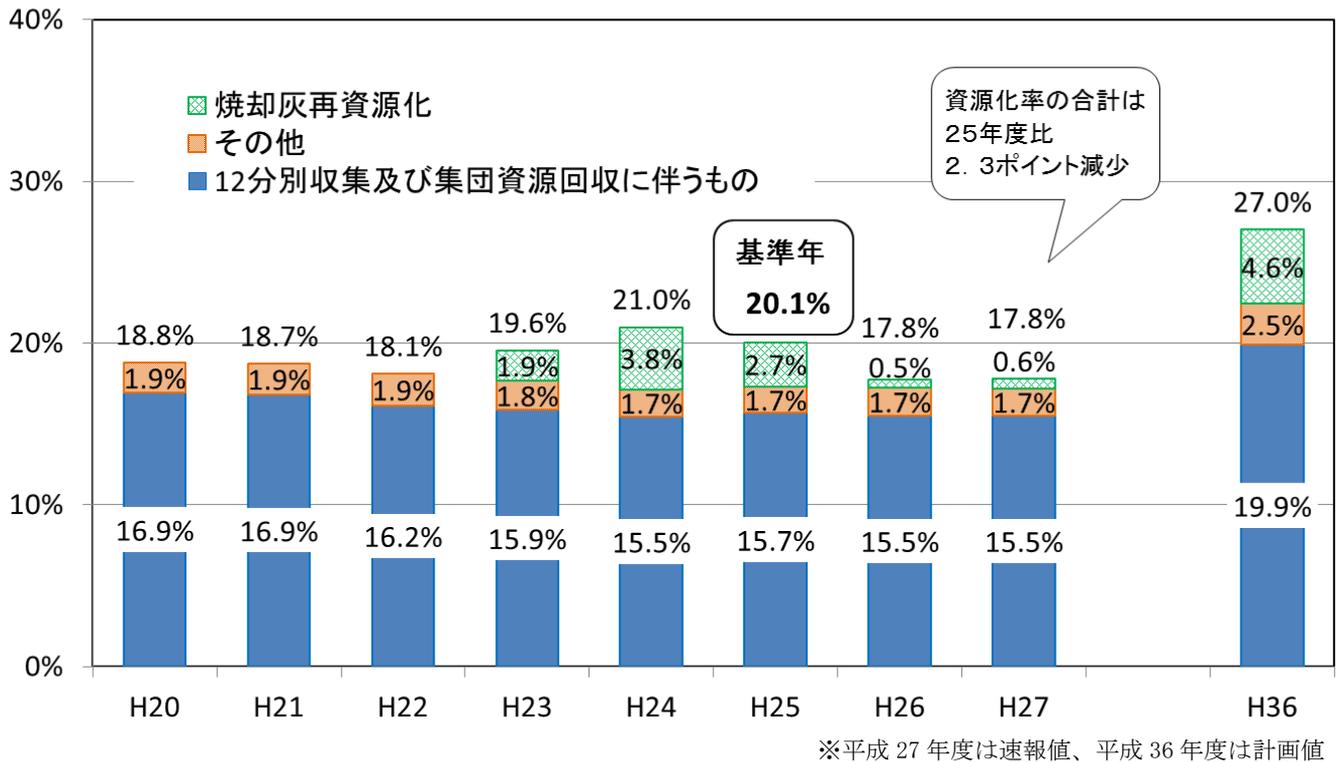
平成 25 年度 (実績)	平成 27 年度 (速報値)	平成 36 年度 (計画目標)
846 g (基準年)	814 g	760 g 以下



※平成 27 年度は速報値、平成 36 年度は計画値

3 資源化率

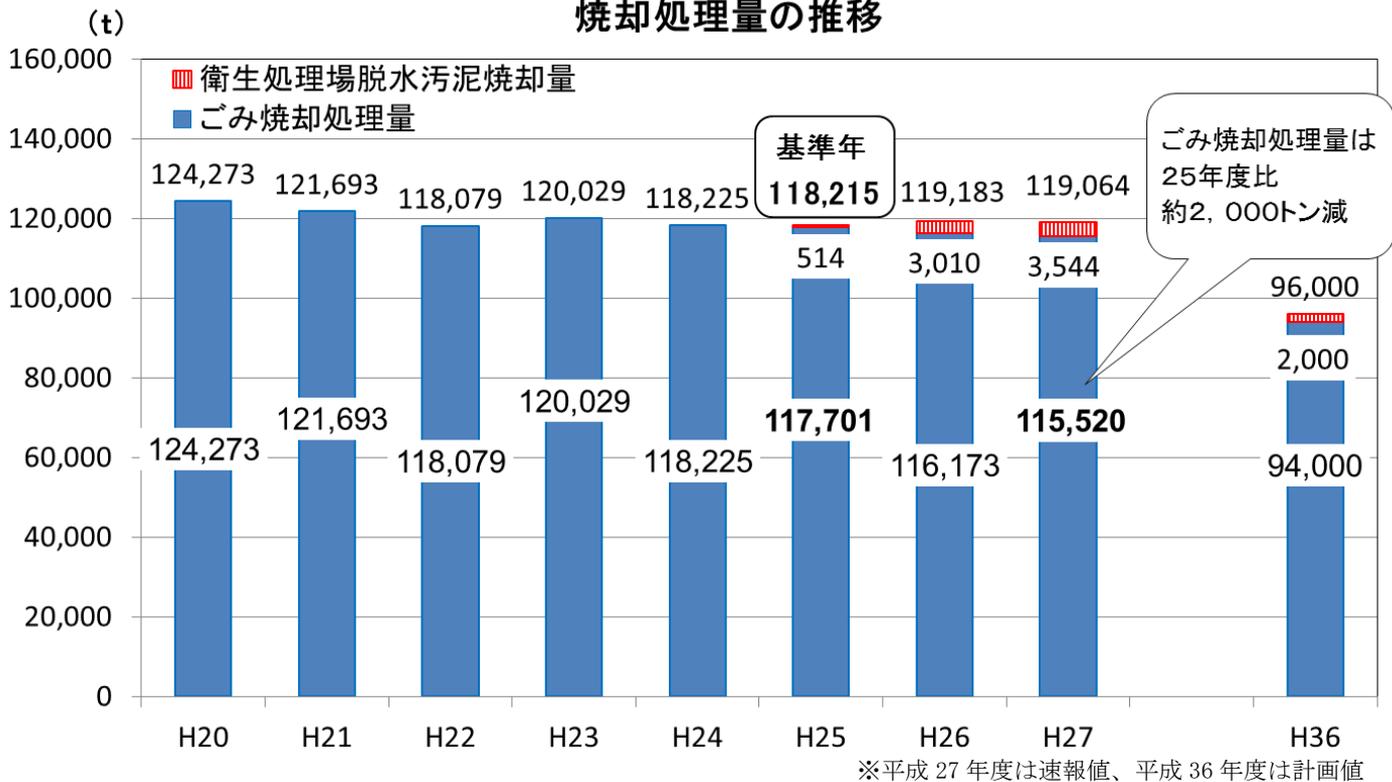
資源化率の推移



平成 25 年度 (実績)	平成 27 年度 (速報値)	平成 36 年度 (目標)
20.1% (基準年)	17.8%	27%以上

4 焼却処理量

焼却処理量の推移

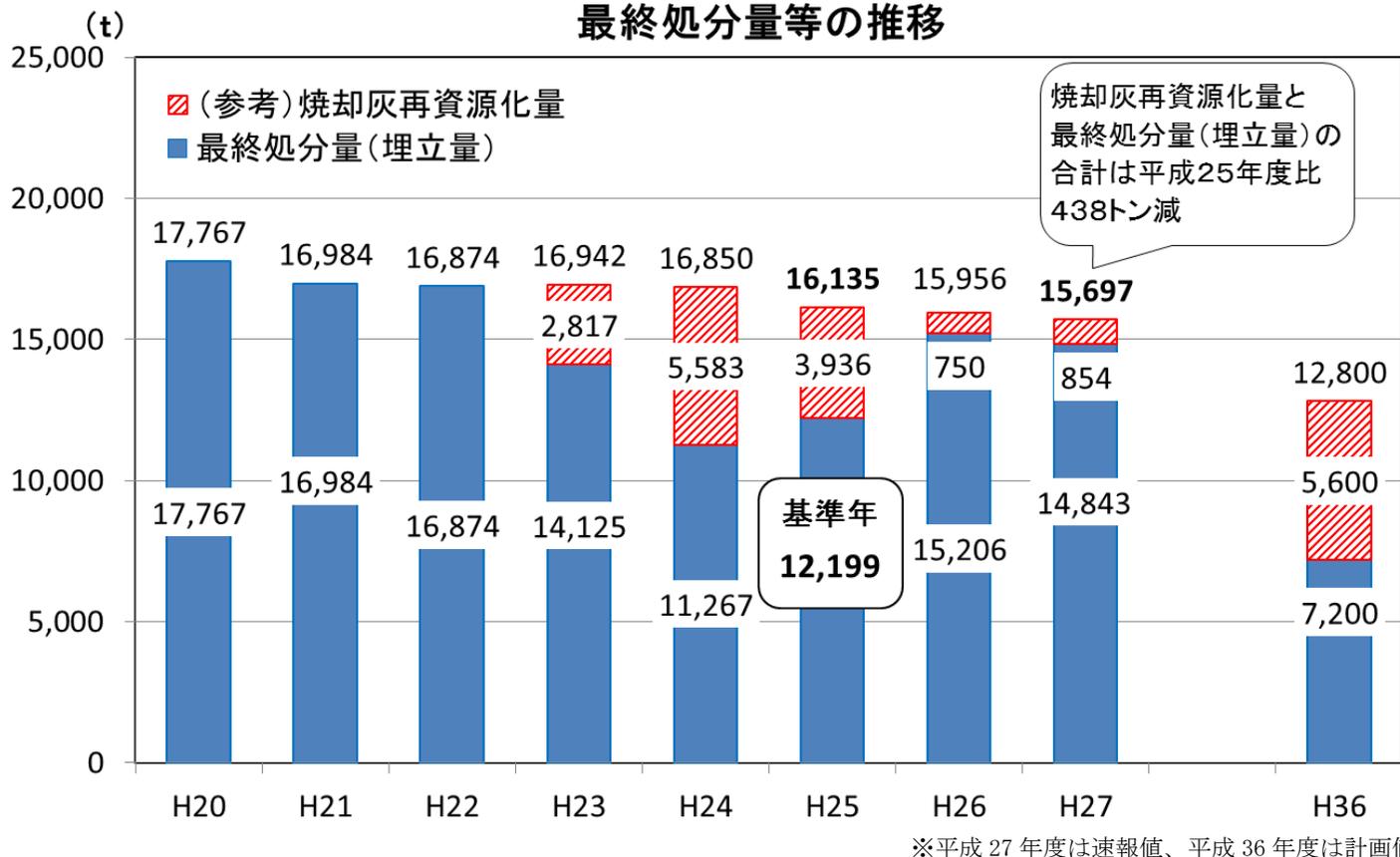


平成 25 年度 (実績)	平成 27 年度 (速報値)	平成 36 年度 (目標)
118,215 t (基準年)	119,064 t	96,000 t 以下

※焼却処理量は搬入量ベースの値、他市からの災害廃棄物（平成 23 年度 519t）は含まれていない。

5 最終処分量等

最終処分量等の推移



平成25年度(実績)	平成27年度(速報値)	平成36年度(目標)
12,199 t (基準年)	14,843 t	7,200 t 以下

※平成23年度の他市からの災害廃棄物の処理相当量、放射性物質の影響による場内保管分は含まれていない。

(参考) 焼却灰・破碎残さの搬出先(平成27年度)

焼却灰	埋立て	千葉県銚子市、千葉県富津市、秋田県小坂町、山形県米沢市
	再資源化	埼玉県寄居町、宮城県栗原市
破碎残さ	埋立て	千葉県君津市、千葉県富津市、秋田県大館市

6 主要な施策の実施状況

項目	実施状況
(1)さらなるごみの減量・資源化に向けた3つのプランの検討 ※3つのプラン ・家庭ごみの有料化 ・戸別収集の導入 ・ごみ収集回数の削減	<ul style="list-style-type: none"> ・3つのプランについて意見交換会等の開催 (計51回・参加者1,367人) ・市民アンケートの実施(回答数:計3,334人) ・市川市廃棄物減量等推進審議会での審議(計6回)及び答申(平成28年1月) ・さらなるごみの減量・資源化に向けた今後の進め方を策定(平成28年5月)
(2)広報・啓発の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・広報いちかわへ記事を掲載(計12回) ・広報誌「じゅんかんニュース」を発行(計4回) ・自治会や小学校などを対象に出前説明を実施(計54回・参加者3,132人) ・リサイクル施設の見学ツアーを実施(計2回・参加者40人)
(3)生ごみの減量	<ul style="list-style-type: none"> ・コンポストの購入補助(計76基) ・生ごみの減量に関する講座を開催(計6回) ・コンポスト購入補助制度の利用者を対象にアンケートを実施
(4)リユースの促進	<ul style="list-style-type: none"> ・大型ごみからリユース可能な家具等をリユース(約12トン) ・フリーマーケットの開催(計2回) ※市川市清掃公社主催 ・リユースショップを紹介するホームページの公開
(5)事業系ごみの減量・資源化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターにて事業系資源物(ダンボール、カン)の別降ろしによる回収を開始(平成27年10月～) ・市川南仮設庁舎におけるペットボトルの再資源化 ※回収量(10月～3月):431.9kg
(6)不適正排出対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・指定袋以外で排出された「燃やすごみ」の取り残しを市内全域の集積所を対象に順次実施(約21,000箇所) ・排出状況の特に悪い集積所(768箇所)へ注意看板を設置 ・調査結果に基づいて共同住宅の管理会社に居住者への指導を依頼(524箇所)
(7)クリーンセンター建て替え計画の具体化	<ul style="list-style-type: none"> ・次期クリーンセンター施設整備基本構想を策定(平成28年1月)